

## 平成30年度行政評価市民アンケート結果

### 1 アンケート調査の実施概要

#### (1) 目的

みよし市の行政運営を評価する場合において、総合計画に掲げた22の施策における各取組に対する満足度、重要度について市民の皆さまの考えをお聞きすることにより、今後の住みよいまちづくりに向けた取組への基礎資料とするとともに、更なる行政サービスの向上を図るためにアンケート調査を実施しています。

#### (2) 調査期間

平成30年11月30日(金)から平成30年12月21日(金)まで

#### (3) 調査対象者

18歳以上90歳未満の市民の方1,400名を住民基本台帳から無作為に抽出しました。

#### (4) 調査方法

調査対象者の属性に関すること、みよし市の住みやすさなど市全体に関することのほか、下記の22項目に区分した市の取組事項に対する満足度、重要度及び総合的な満足度を4段階で区分し調査しました。調査票は、郵送により配布し同封した返信用封筒により回収しました。

政策名	設問	設問の概要
人と自然が共生する快適な環境づくり	1 - 1	地域の特性を活かし、調和のとれたまちについて
	1 - 2	緑に包まれ、水と親しむ、快適で美しいまちについて
	1 - 3	環境と人にやさしいまちについて
健康で生きがいのある暮らしの実現	2 - 1	みんなで助け合える福祉のまちについて
	2 - 2	生涯健康で安心して暮らし続けられるまちについて
	2 - 3	生きがいを持って楽しく暮らせるまちについて
	2 - 4	文化・芸術に親しみ、育むまちについて
	2 - 5	生涯スポーツができ、健康で元気なまちについて
安全で安心して住み続けることができる地域づくり	3 - 1	安全で快適な住環境が整ったまちについて
	3 - 2	誰もが安心して出かけられるまちについて
	3 - 3	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまちについて
魅力ある活力とにぎわいのまちの実現	4 - 1	効率的で安定的農業を育むまちについて
	4 - 2	環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまちについて
	4 - 3	にぎわいと交流のあるまちについて
	4 - 4	多様な文化に親しみ、ふれあえるまちについて
	4 - 5	連携と友好のきずなで築くまちについて
社会と次代を担う自立した人材の育成	5 - 1	安心して子どもを産み、育てられるまちについて
	5 - 2	豊かな心と個性が輝くまちについて
	5 - 3	地域で青少年を支えるまちについて

政策名	設問	設問の概要
市民と行政の協働による自立した自治体経営の実現	6 - 1	誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進について
	6 - 2	市民サービスを高める行政運営の推進について
	6 - 3	健全で安定した財政運営について
総合満足度	7	総合的に考えた場合の満足度について

#### (5) 回答結果

アンケートは、598人(42.7%)の方から回答をいただきました。性別、年齢、居住地区などの詳細は、以下のとおりです。

#### (性別・年齢別一覧)

区分	対象者数	配布数 (A)	構成比	回答数 (B)	構成比	回答率 (B/A)	
総計	47,055	1,400	-	598	-	42.71%	
性別	男性	24,298	714	51.00%	251	41.97%	35.15%
	女性	22,757	686	49.00%	341	57.02%	49.71%
	性別未記入	-	-	-	6	1.01%	-
年齢	18～29歳男性	4,512	111	7.93%	22	3.68%	19.82%
	18～29歳女性	3,951	92	6.57%	29	4.85%	31.52%
	30～39歳男性	4,047	100	7.14%	23	3.85%	23.00%
	30～39歳女性	3,421	103	7.36%	51	8.53%	49.51%
	40～49歳男性	5,151	157	11.21%	39	6.52%	24.84%
	40～49歳女性	5,031	172	12.29%	90	15.05%	52.33%
	50～59歳男性	4,292	136	9.71%	47	7.86%	34.56%
	50～59歳女性	3,707	110	7.86%	59	9.87%	53.64%
	60～69歳男性	2,789	87	6.21%	46	7.69%	52.87%
	60～69歳女性	2,678	86	6.14%	38	6.35%	44.19%
	70～79歳男性	3,507	123	8.79%	74	12.37%	60.16%
	70～79歳女性	3,969	123	8.79%	73	12.21%	59.35%
年齢・性別未記入	-	-	-	7	1.17%	-	
居住地区	きたよし	24,222	715	51.07%	289	48.33%	40.42%
	なかよし	18,047	530	37.86%	227	37.96%	42.83%
	みなよし	4,786	155	11.07%	70	11.71%	45.16%
	地区未記入	-	-	-	12	2.00%	-

対象者数は、平成30年11月1日現在の18歳以上90歳未満の人口

#### (6) 今後の活用方法

行政評価における施策評価、事務事業評価において、本アンケートを平成30年度の実績値としてとらえ、今後のまちづくりへの取組にあたり経年変化や回答者の属性などデータを分析することにより、効果的な行政サービスの実現のために役立てていくこととします。

## 2 アンケート調査結果

### (1) 住みやすさについて

みよし市の住みやすさについて、全体では「どちらかといえば住みやすい」が65.2%と最も多く、次いで「大変住みやすい」が20.9%と、およそ9割(86.1%)の人が“住みやすい”と評価しています。一方、「大変住みにくい」(1.5%)と「どちらかといえば住みにくい」(12.4%)を合わせた、“住みにくい”とした人はおよそ1割(13.9%)となっています。

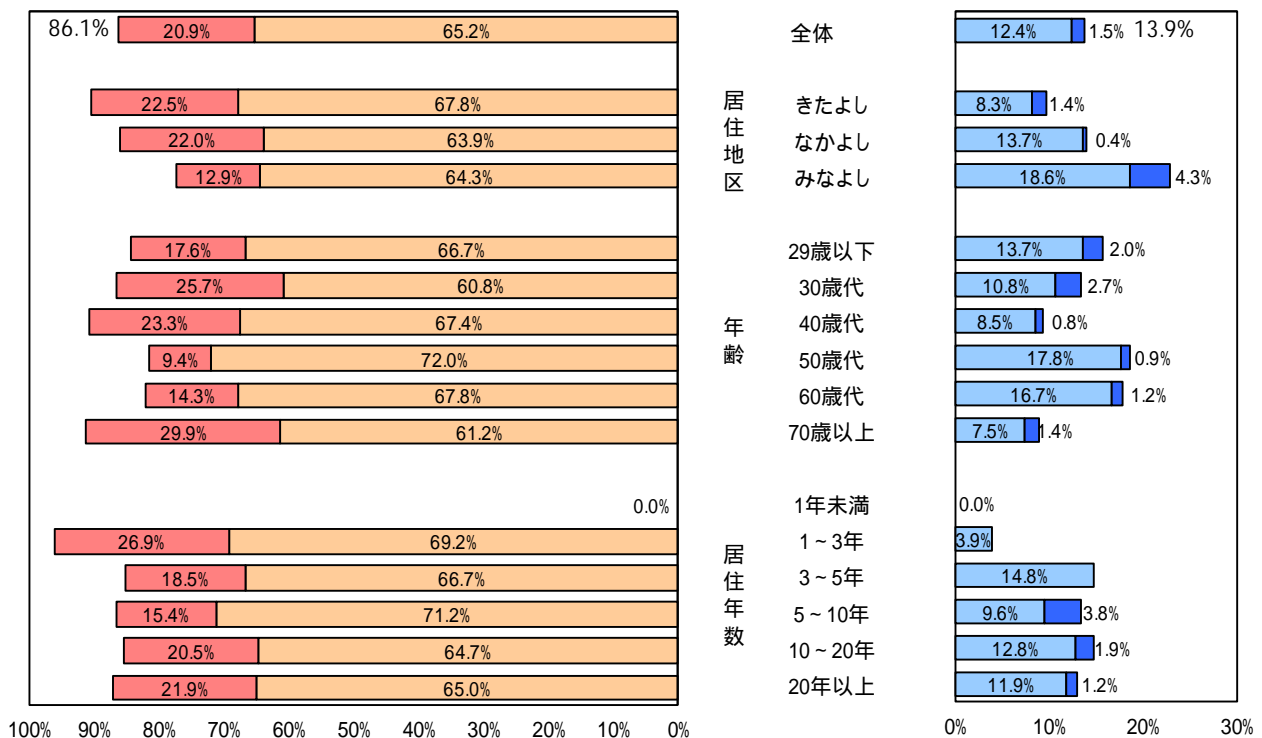
世代別でみると、“住みやすい”とした人の割合は、「70歳以上」が最も高く91.1%で、次に「40歳代」の90.7%で、最も低いのが「50歳代」の81.4%となっています。さらに、居住年数別では、「1年以上3年未満」の96.1%、「20年以上」では86.9%の人が“住みやすい”と回答しています。また、今後も住み続けたいかという問いに対しては、90.5%の人が「今後も住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」と答えています。

“住みやすい”と思う主な理由としては、「住環境がよい」(222件)「自然環境が良い」(210件)、となっています。一方、“住みにくい”と思う理由は、「電車・バスなどの交通の便が悪い」(60件)、「買い物や外食の利便性が悪い」(43件)となっています。

【住みやすさ】

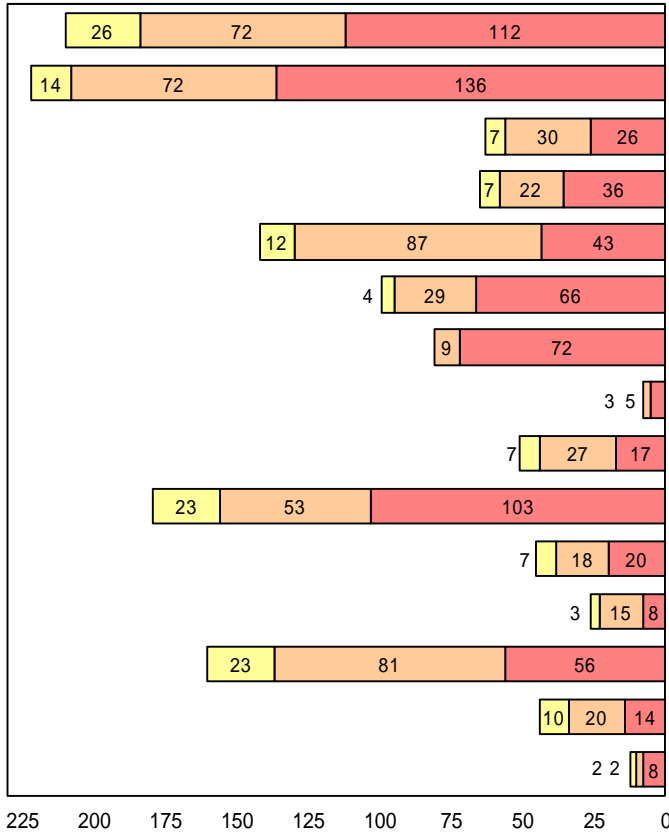
回答総数: 598件

■ 大変住みやすい □ どちらかといえば住みやすい □ どちらかといえば住みにくい ■ 大変住みにくい



【住みやすいと思う理由】

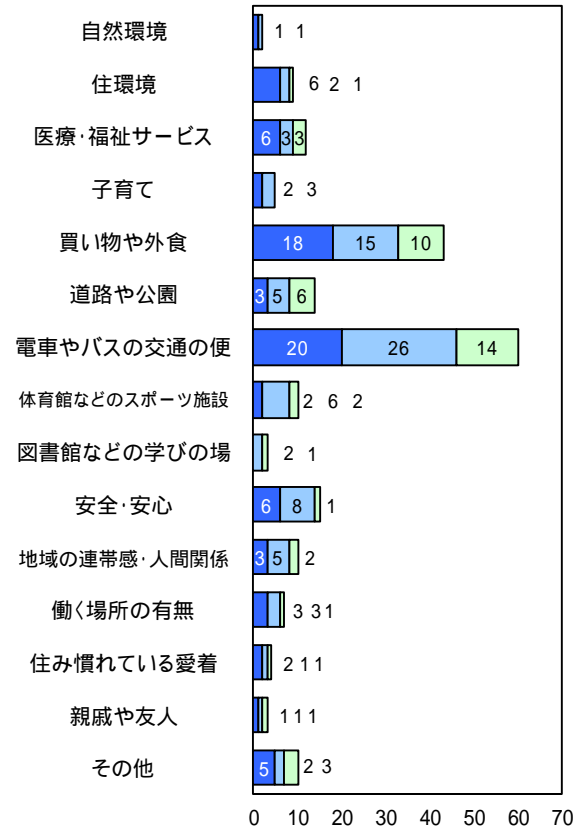
■ みなよし ■ なかよし ■ きたよし



(件)

【住みにくいと思う理由】

■ きたよし ■ なかよし ■ みなよし



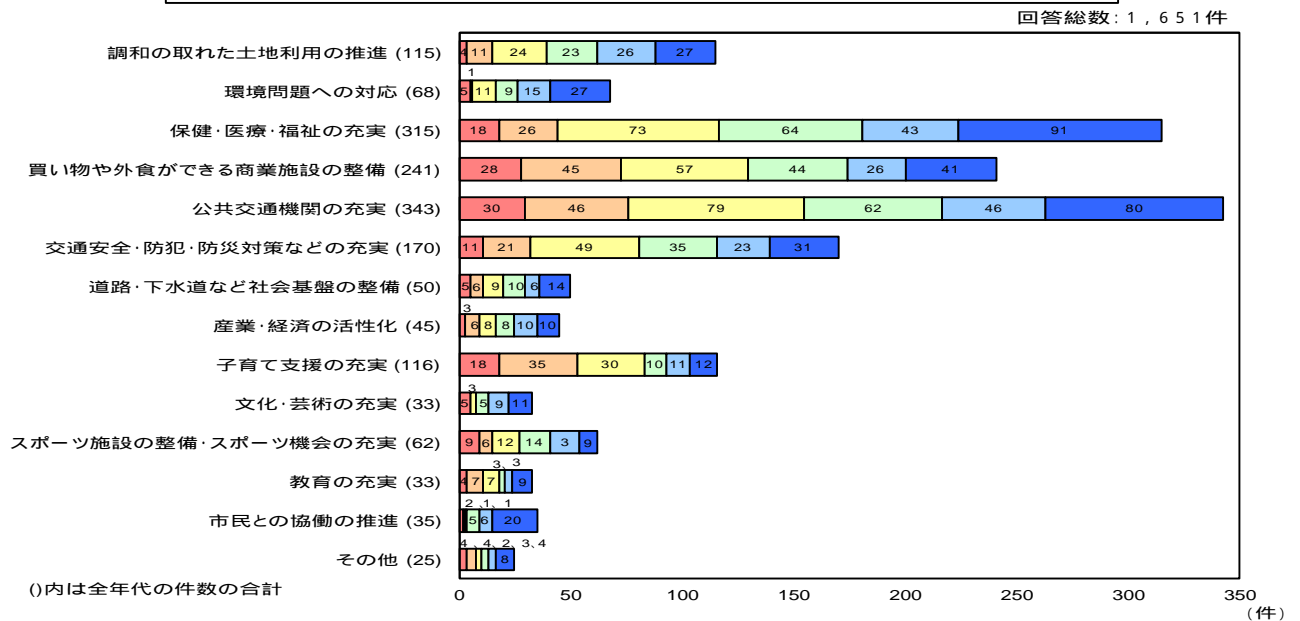
回答総数: 1,614件 (件)

(2) 「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことについて

「住みやすいまち」にするために重点的に取り組むべきことの問いに対しては、「公共交通機関の充実」(343件)が最も多く、次いで「保健・医療・福祉の充実」(315件)、「買い物や外食ができる商業施設の整備」(241件)となりました。

【住みよいまちとするために重点的に取り組むこと】 複数回答

■ 29歳以下 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳以上



( )内は全年代の件数の合計

(件)

(3) 市の取り組み(施策)項目別の満足度・重要度評価

本アンケートでは、総合計画における6つの基本目標を実現するための手段となる22項目に区分した市の取り組み(施策)に対する個別の満足度・重要度と、市の取り組み全体に対する総合的な満足度について調査を行いました。それぞれの項目の選択肢に下表のように評価得点をつけて、回答者による平均得点を算出し評価指標としました。

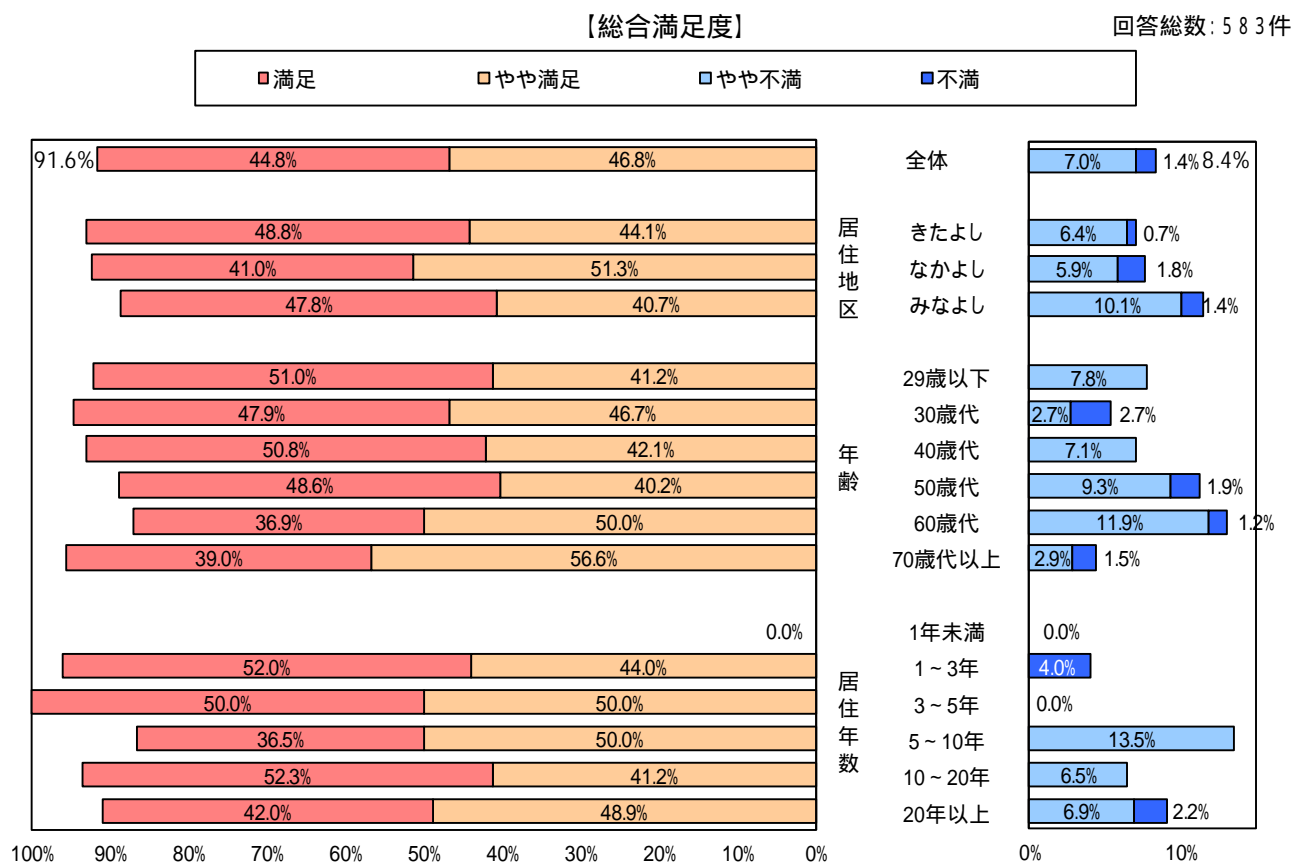
満足度	得点	重要度	得点
満足	5点	重要	5点
やや満足	4点	やや重要	4点
普通	3点	あまり重要でない	2点
やや不満	2点	重要でない	1点
不満	1点	わからない	-

ア 総合的な満足度(質問7)について

今回の調査による平均得点は、3.417点の「普通」と「やや満足」の中間の水準であり、調査対象者のうちおよそ9割(91.6%)の人が「満足」、「やや満足」と答えています。

世代別でみると、「70歳以上」の95.6%が「満足」、「やや満足」と答えており、「満足度」が高いことがうかがえます。一方、「満足度」が最も低いのは、「60歳代」で、「満足」、「やや満足」と答えた割合は86.9%にとどまっており、13.1%の人が「不満」、「やや不満」と答えています。

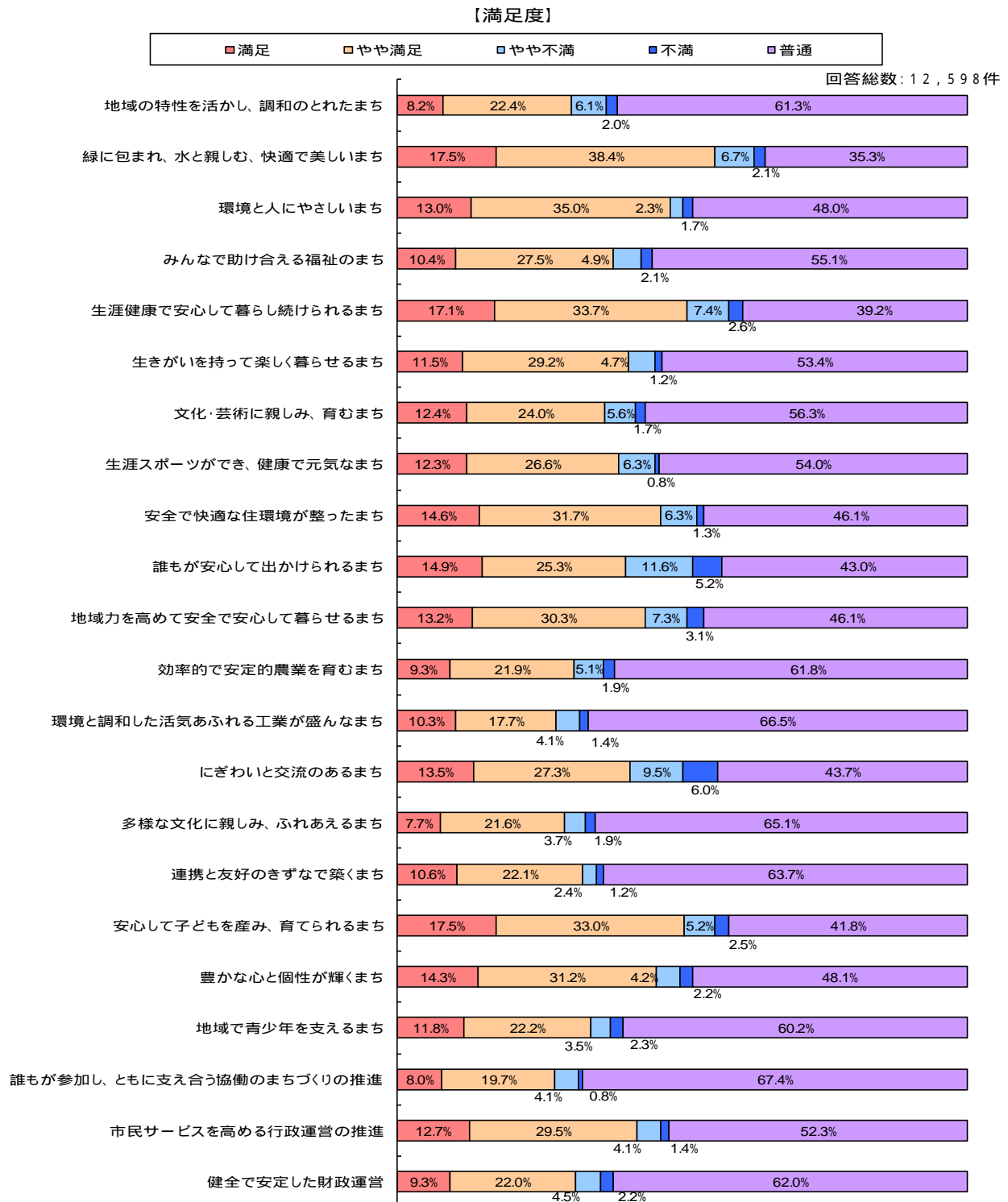
居住年数別では、「満足」、「やや満足」と答えたのは「3年以上5年未満」が100.0%と「満足度」が最も高く、「5年以上10年未満」になると86.5%にとどまっています。



## イ 項目別満足度について

項目別満足度の平均得点は3.417点で、「緑に包まれ、水と親しむ、快適で美しいまち」の3.626点と、「地域の特性を活かし、調和のとれたまち」の3.285点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

- |                                 |                                       |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| 1位 緑に包まれ、水と親しむ、快適で美しいまち (3.626) | 18位 健全で安定した財政運営 (3.314)               |
| 2位 安心して子どもを産み、育てられるまち (3.579)   | 19位 環境と調和した活気あふれる工業が盛んなまち (3.313)     |
| 3位 環境と人にやさしいまち (3.553)          | 20位 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進 (3.298) |
| 3位 生涯健康で安心して暮らし続けられるまち (3.553)  | 21位 多様な文化に親しみ、ふれあえるまち (3.295)         |
| 5位 安全で快適な住環境が整ったまち (3.518)      | 22位 地域の特性を活かし、調和のとれたまち (3.285)        |

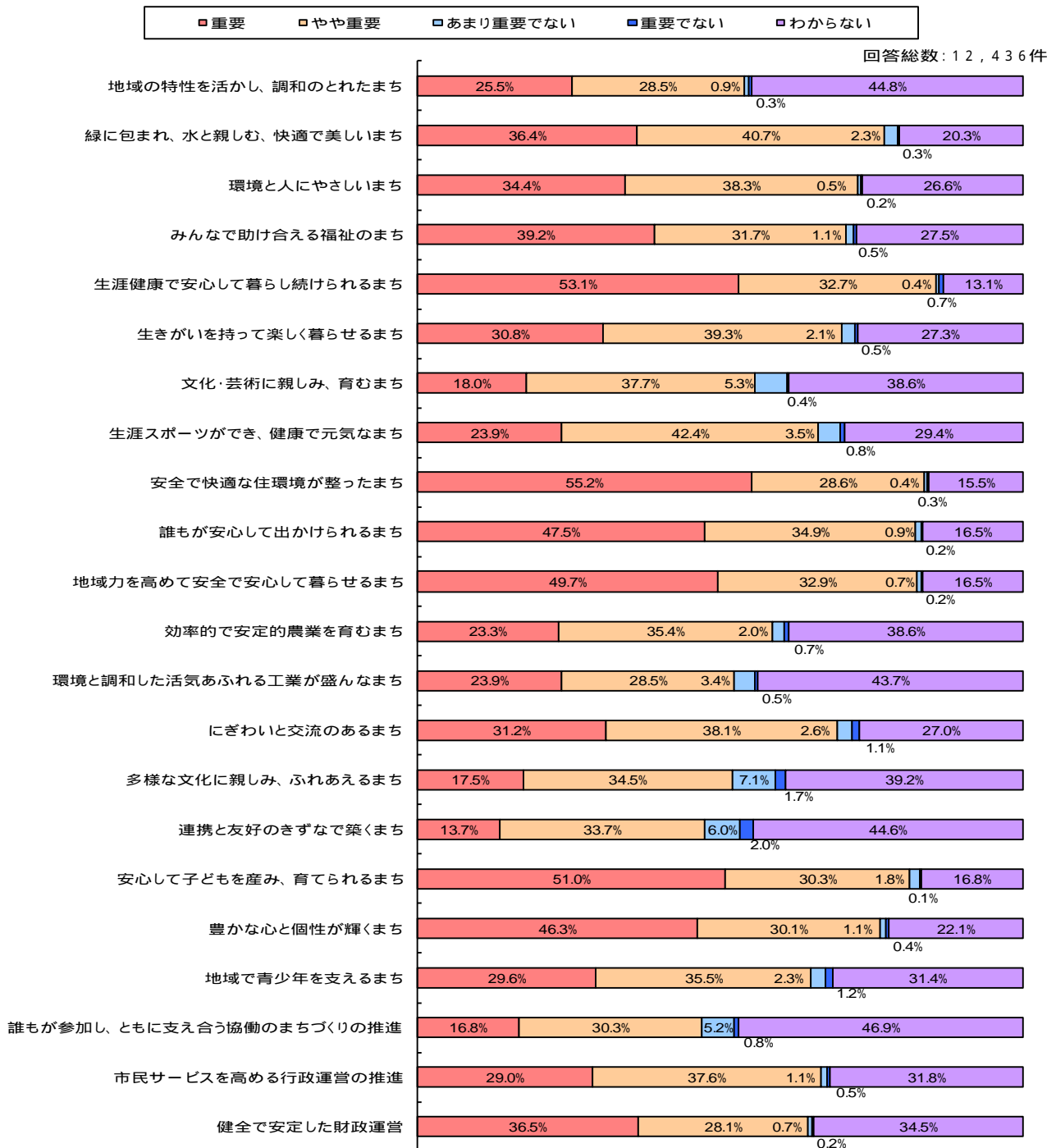


## ウ 項目別重要度について

項目別重要度の平均得点は4.358点で、「安全で快適な住環境が整ったまち」の4.633点と、「連携と友好のきずなで築くまち」の3.927点の間に分布しました。上位と下位の項目は次のとおりです。

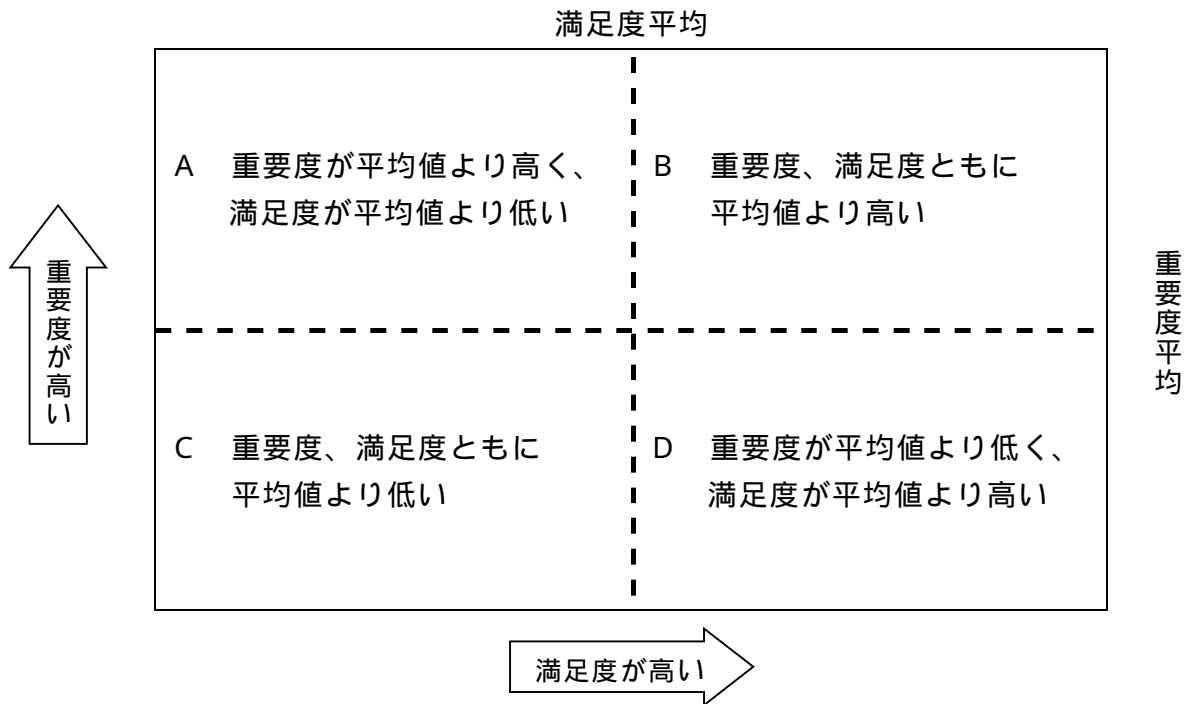
- |                                |                                      |
|--------------------------------|--------------------------------------|
| 1位 安全で快適な住環境が整ったまち(4.633)      | 18位 生涯スポーツができ、健康で元気なまち(4.209)        |
| 2位 生涯健康で安心して暮らし続けられるまち(4.578)  | 19位 文化・芸術に親しみ、育むまち(4.103)            |
| 3位 地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち(4.572) | 20位 誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進(4.070) |
| 4位 安心して子どもを産み、育てられるまち(4.564)   | 21位 多様な文化に親しみ、ふれあえるまち(3.968)         |
| 5位 豊かな心と個性が輝くまち(4.554)         | 22位 連携と友好のきずなで築くまち(3.927)            |

【重要度】



エ 重要度、満足度の平均値散布図による分析（重要度・満足度の散布図を参照）

各調査項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、平均値を基準として次の4つの領域に分類し分析しました。



Aの領域・・・取り組みの必要性は十分認識されているものの、満足度が低く、最も充実を求められていると考えられます。このため従来の取り組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要がある重点項目としてとらえることができます。

「健全で安定した財政運営」、「地域の特性を活かし、調和のとれたまち」などが該当します。

Bの領域・・・取り組みの必要性は十分認識され、その取り組みにも満足されているものと考えられます。このため今後も現在の水準を維持していく項目としてとらえることができます。

「生涯健康で安心して暮らし続けられるまち」、「安心して子どもを産み、育てられるまち」などが該当します。

Cの領域・・・取り組みに対するニーズは低く、満足度も低いものと考えられます。このため、今後取り組みの見直しなどを検討する必要がある項目としてとらえることができます。

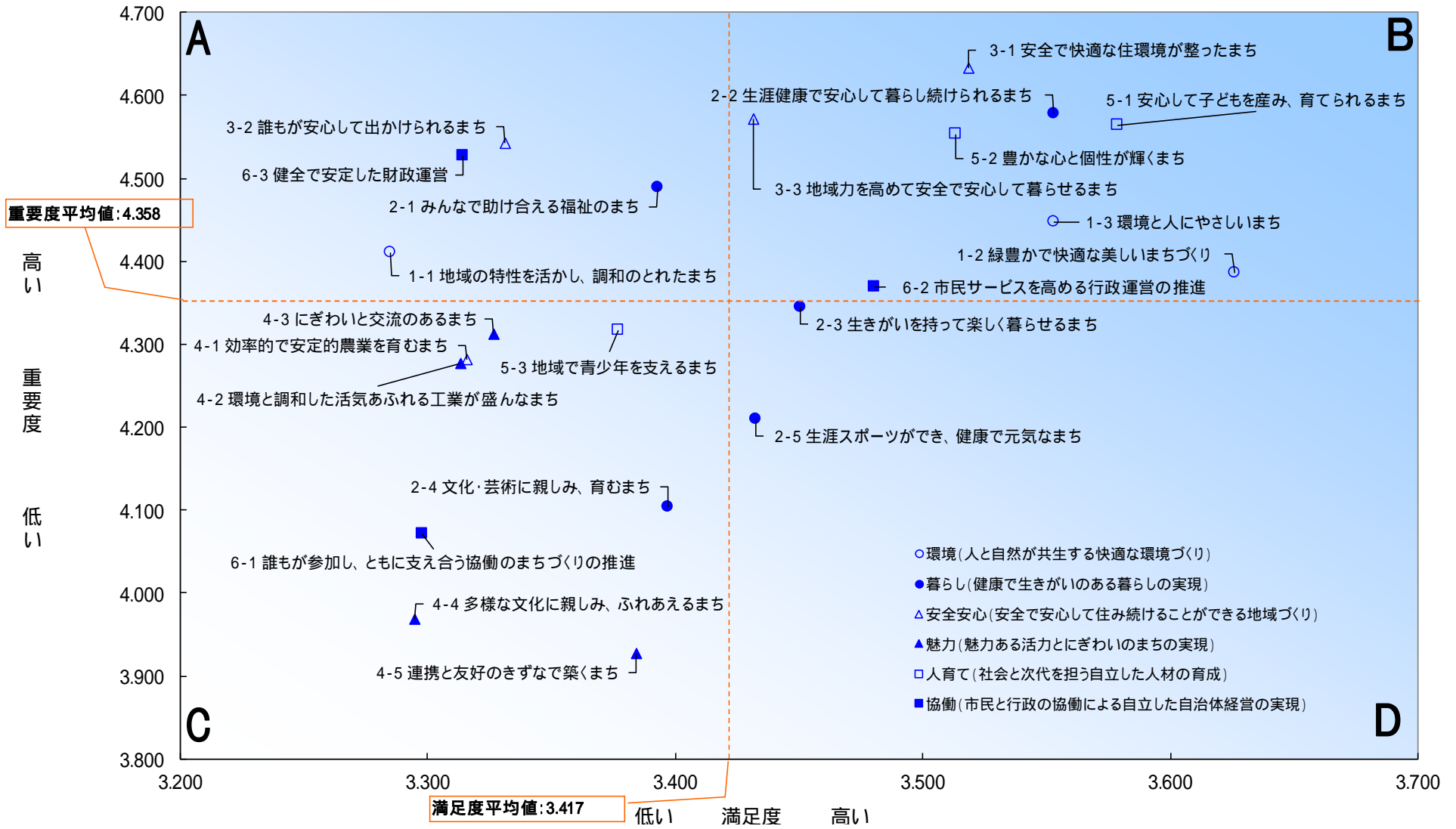
「誰もが参加し、ともに支え合う協働のまちづくりの推進」、「多様な文化に親しみ、ふれあえるまち」などが該当します。

Dの領域・・・取り組みの必要性は低いが、満足されているものと考えられます。今後も現状のまま保つ維持項目としてとらえることができます。

「生きがいを持って楽しく暮らせるまち」などが該当します。



# 30年度 重要度・満足度の散布図



### 3 その他（市の職員の仕事ぶりについて）

市の職員の仕事ぶりについては、45.2%の人が「満足している」、「どちらかといえば満足している」と答えており、「わからない」を除くとおよそ8割弱(76.0%)の人が“満足している”と評価しています。一方、「どちらかといえば不満である」、「不満である」を選んだ人のうち、もっとも多かった理由は「対応や態度が悪い」で38.1%でした。

その他の意見として、「事務のミスが多い」、「職員の知識不足」等のご意見をいただきました。いただいた意見を真摯に受け止め、市民から愛される職員を目指し、より一層職員の意識を高めていきます。

